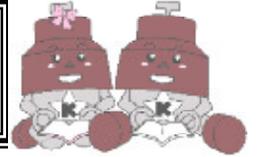




148号 2014.7

川口市立図書館

図書館だより



パソコン用ホームページ URL <http://www.kawaguchi-lib.jp/>

携帯電話用ホームページ URL <http://www.kawaguchi-lib.jp/opw1/IMD/IMDMAIN.CSP>



携帯用 QRコード →

平成25年度 図書館利用統計

図書館別貸出数は下表のとおりです。

中央図書館の蔵書数増加に伴い、これまで年1回であった図書特別整理休館期間を年2回にしたことや、新郷図書館の床改修工事のための休館、横曽根図書館・戸塚図書館においてもそれぞれ設備工事等に伴う休館をおこなったことにより、年度内の貸出総数は前年度より減少しました。

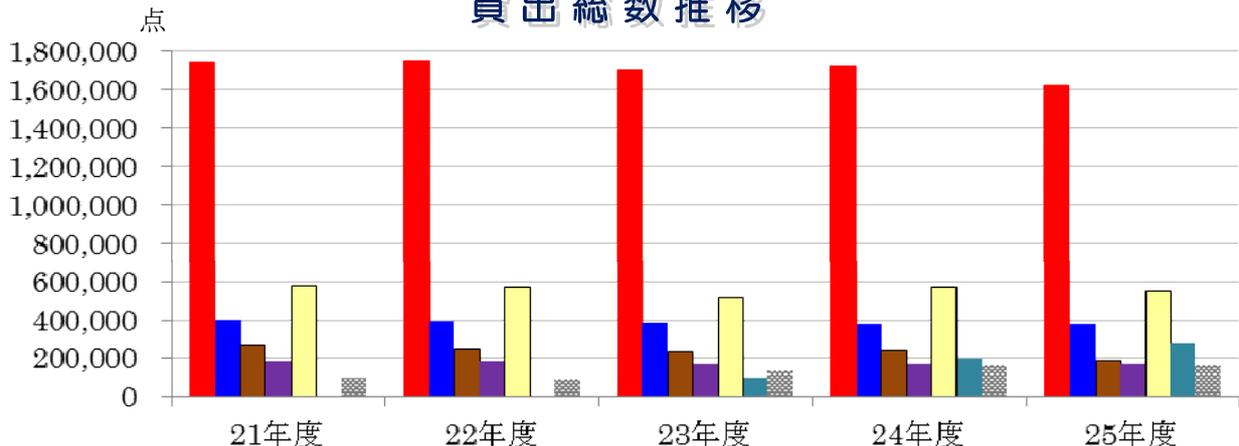
皆さまには、「図書館の本・CD・DVD等の資料は大切にみつかう」などの「マナー」を守ったうえで、より一層のご利用をお願いいたします。

図書館統計 平成25年4月1日～ 平成26年3月31日	開館日数	図書・雑誌資料貸出数(冊)				視聴覚資料 貸出数 ※2	貸出 総数
		一般書	ティーン書	児童書	計		
中央図書館	339	1,123,047	20,284	308,162	1,451,493	174,576	1,626,069
前川図書館	285	233,721	2,818	111,550	348,089	28,709	376,798
新郷図書館	255	110,288	2,055	59,733	172,076	16,342	188,418
横曽根図書館	280	101,656	1,128	54,803	157,587	10,756	168,343
戸塚図書館	280	335,521	4,157	167,952	507,630	41,600	549,230
鳩ヶ谷図書館	286	142,099	319	110,176	252,594	28,880	281,474
芝園分室	292	27,643	100	9,785	37,528	4,191	41,719
移動図書館※1	122/246	11,863	33	8,920	20,816	177	20,993
芝北文庫	267	15,452	116	19,747	35,315	5,861	41,176
南鳩ヶ谷文庫	270	21,095	137	37,095	58,327	2,115	60,442
平成25年度計	—	2,122,385	31,147	887,923	3,041,455	313,207	3,354,662
平成24年度計	—	2,202,166	35,294	873,151	3,110,611	328,518	3,439,129

※1 移動図書館の開館日数は、「巡回日数/巡回場所数」となっています。

※2 視聴覚資料数は、CD・ビデオ・DVD・語学CD・カセットテープの利用点数を合計したものです。

貸出総数推移



※グラフの構成：左から、中央、前川、新郷、横曽根、戸塚、鳩ヶ谷、分室文庫移動図書館小計。

図書館の本などを借りる際は、「雨」にもご注意を！

近年、夏頃になると、突発的な天気の変化によるゲリラ豪雨などが多く発生するようになりました。また、夏季以外でも、梅雨や秋雨など、雨の続く季節が多くあります。

皆さまは、雨天時に図書館の本などを持ち歩く際、濡れないような工夫をしていますか？

図書館でお借りいただいたものを紛失されたり、汚損・破損などで次の方への提供ができない状態になってしまった場合、「弁償」をしていただいておりますが、「弁償」になってしまう本や雑誌の中には、「雨による水濡れ」が原因のものも少なくありません。

本などは濡れてしまうと、ふやけて全体がゆがんでしまったり(図1)、ページ同士が貼りついてしまったり(図2)、カビが生えてしまうなどして、読むことができなくなる場合があります。

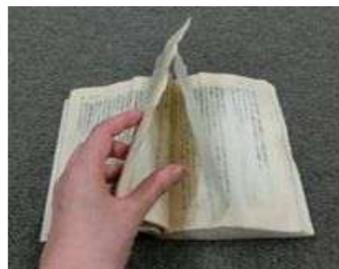
図書館では、濡れてしまった本のページに一枚一枚紙を挟んで水分を吸収させ(図3)、プレスして乾燥させるなど、修復に努めていますが、それでも、次の方に提供できる状態に修復できるケースは、ごくわずかです。

図書館でお借りいただいている本などの資料は、市民をはじめとする図書館利用者の皆さまの「共有財産」であり、次の方に提供できる状態を保っていただくことが、利用の基本ルールです。

貸出時、返却時、または、持ち歩きをされる際などは、急な天気の変化も想定していただき、お借り資料が雨などで濡れることがないように、充分ご注意ください。



(図1)



(図2)



(図3)

【図書館の本や雑誌を「濡らさない」ためには……】

- 貸出時・返却時・持ち歩き時には、「乾いていて清潔なビニール袋」で何重かに梱包する。
 - ・鞆に入れていても、雨が鞆に侵入することがあります。また、布鞆などは水を通します。
 - ・飲料や食品等を購入したビニール袋は、中が濡れていたり汚れていたりすることがあります。
 - ・ビニールが破れている恐れもあります。何重かにすることで、水の浸入を防げます。
 - ・十分な大きさの、きれいなビニール袋を使用しましょう。
- 水筒やペットボトルと一緒に鞆に入れない。(ボトルの結露で濡れることがあります。)
- 自宅などでは、窓際や加湿器の近くに置かず、乾燥した場所に保管する。
- 利用時は、飲み物や食べ物をこぼさないように注意する。

※「水濡れ」だけでなく、紛失・汚損・破損なども、「弁償」の対象になります。ご注意ください。

「返却遅滞者に対する利用制限」による成果の報告について

図書館資料(本・CD・DVD等)の貸出について、2013年7月より、延滞期間が15日以上の利用者に対し、その資料を返却いただくまで、新たな貸出や、貸出中資料の延長(再貸出)、予約の受付ができなくなる「利用制限」を実施しております。

今年の7月で開始から1年が経過し、返却遅滞者数は右のグラフのとおり減少しました。これにより督促状発送等の督促業務も減少し、それらにかかる歳出削減にもつながりました。

貸出サービスをご利用の皆さまには、今後とも、貸出期限内での適正な資料のご利用をお願いいたします。

本の道案内

このコーナーでは、図書館員が選ぶ、おすすめの本をご紹介します。読む本に迷ったときは、是非参考にしてみてください。思わぬ発見があるかもしれません。

『走れ！移動図書館 本でよりそう復興支援』 鎌倉幸子／著 筑摩書房 2014年刊 NDC 015.5

東日本大震災直後、被災者の心の回復のために「本」を届ける移動図書館プロジェクトが立ち上げられました。生きていくためには、本よりもまず「衣食住」なのは当然です。でも、「こんな時だから、今、出会う本が子どもたちの一生の支えになる」。本のチカラについて、とても考えさせられる1冊です。

『炭鉱(ヤマ)に生きる 地の底の人生記録』 山本作兵衛／著 講談社 2011年刊 NDC 567.0

福岡に生まれ明治大正昭和と炭鉱で働き続けた著者。当時の生活を子孫に残すために描いた画文集です。この本に載っている絵画などは、2011年に日本で初めてユネスコ世界記憶遺産に登録されました。他にも大型本で『筑豊炭坑絵巻』、『ヤマの記憶』などがあります。

『あゝ野麦峠 ある製糸工女哀史』 山本茂実／著 角川書店 1981年刊 NDC 366.3

明治から昭和初期にかけて、岐阜県から多くの工女が険しい峠を越えて、長野県にある製糸工場に、働きに出ていました。これらの工女への取材を元に、描かれたノンフィクション作品です。富岡製糸工場の世界遺産登録が話題になっていますが、明治来の文明開化を支えた製糸業を考える上で、読んでおきたい一冊です。

